

残席わずか

# ヒューマンエラーから脱却するための「人間重視のヒューマンエラー防止法」【会場】 (4124180)

「ルール強化はもう限界」ヒューマンエラーから脱却するための「人間重視のヒューマンエラー防止法」。本セミナーは「命令でエラーを防止することは難しい、人間は内発的要因である『意欲』や『やりがい』によって動機付けされる」との理念に基いて「人間力」を改善活動の基盤として構成しています。「ケーススタディ」や「ワークショップ」を楽しく体験しながら「人間重視のヒューマンエラー防止法」を学んでいただくと共にセミナー教材を教育にご活用いただけます。

開催日時	2024年5月22日(水) 10:00-17:00会場
カテゴリ	業務遂行スキル <a href="#">ヒューマンエラー</a>
講師	関弘光 氏 【ヒューマンエラー防止・ラボ 代表、元 富士通（株）人材開発部 シニア・レクチャラー上級教育士（工学）】 成城大学工学部経営工学科を卒業し、富士通（株）入社。品質改善部門、教育訓練部門を経てシステム開発部門において通信・金融・官公庁等のシステム開発マネージメントに携わる（途中、未来工学研究所主任研究員）。近年、品質問題を抱える本部組織の品質改善に従事し（主務部長、品質保証部長）、S1分野で日本物のDM&CRMレベル5を達成、社長賞と最高品質賞を受賞。卒業後も継続し、同社人材開発部門において「わくわく」元気を高める品質改善実践を指導、多くのマネージャーおよびリーダーが品質改善プロフェッショナルを育成。2011年、富士通を退職。その後、「人間力醸成」を基盤とした各種セミナー・講演・企業研修・コンサル等、3万人以上の方々の指導を行っている。 ■著書：「人間重視の品質マネージメント ソフトウェア品質保証システムの構築と実践」（SRC）：堤田 隆興、関 弘光、宮崎 幸生 ■月刊工業新聞社発行「工場管理」2018年2月号に講師の「人間重視のヒューマンエラー防止法」についての特集記事が掲載。 【注】DM&CRM: 世界的に登録された登録商標(Capability Maturity Model and CRM) are registered in the U.S. Patent and Trademark Office.
参加費	JUAS会員/1名: 35,200円 一般/45,100円（1名様あたり）消費税込み、テキスト込み【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（NIPSS）東京支部（スクエア2F）
対象	人間を主体にした作業や運用に従事している方。リーダー、マネージャー、品質管理担当者、人材育成担当者、組織的な改革に携わっている方など <a href="#">詳細</a>
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITC認定時間	6

## 主な内容

### ■受講形態

会場のみ（オンラインなし）

### ■テキスト

当日配布

### ■開催日までの課題事項

特になし

”ルール強化はもう限界”

ヒューマンエラーから脱却するための「人間重視のヒューマンエラー防止法」

### ◆受講後の修得知識

- 1) ヒューマンエラー防止のための「仕組み考案のコツ」
- 2) 「人間力醸成法」
- 3) 「リスクマインド醸成法」
- 4) 「品質&改善マインド醸成法」
- 5) 「全員参加型改善活動の実践法」
- 6) 「具体的な導入方法」

### ◆セミナー内容

#### 第1章 ヒューマンエラーと人間重視

1. 1 ヒューマンエラー防止活動の基盤
  - 1) ヒューマンエラー防止活動と「価値観の認識」
  - 2) 人間のタイプと改善活動
1. 2 ヒューマンエラー防止と本セミナーの主張
  - 1) 何故ヒューマンエラーが繰り返されるのか
  - 2) エラーが起きる前にやるべき効果的防止法

#### 第2章 失敗を繰り返さないための「人間力の醸成」

2. 1 「失敗の構図」と「品質問題の発生」
2. 2 人間重視と人間力の醸成
  - 1) 人間重視の品質改善
  - 2) 「わくわく」感と人間力醸成の構図
2. 3 ヒューマンエラーとコミュニケーションの向上
  - 1) 演習1「トラブルと人間関係」
  - 2) 「心理学的な知恵」と人間関係の向上

### 第3章 ヒューマンエラー防止のための「動機付け」ケーススタディ

#### 3. 1 人を動かす仕組み考案のコツ

- 1) 「人を動かす仕組みの考案」
- 2) 「人間重視型思考パターン」

#### 3. 2 「動機付けする」ケーススタディ

- 1) 演習2：「人を動かす再発防止計画」
- 2) 人を動かす「再発防止計画1」

### 第4章 エラー防止のための「リスクマインド醸成」ワークショップ

#### 4. 1 簡単にできる「問題発生防止」

- 1) 「ヒューマンエラー防止」と「リスク管理」
- 2) 「管理者と現場の乖離」を踏まえた「仕組み考案」
- 3) 演習3：「ヒューマンエラーとリスク管理」

#### 4. 2 「リスクマインドの醸成」と「リスク管理の仕組み」

- 1) 「リスク意識の高い集団」と「リスクマインドの醸成」
- 2) 人を活かし動かす「リスク管理」の仕組み事例
- 3) 人を動かす「再発防止計画2」

### 第5章 エラー防止のための「品質&改善マインド醸成」ワークショップ

#### 5. 1 エラーを防ぐ「品質&改善マインドの醸成」

- 1) 「品質&改善マインド」の醸成事例
- 2) 演習4：「ヒューマンエラー防止と改善提案」

#### 5. 2 「わくわく」感を生み出す「全員参加型改善活動」

- 1) 「全員参加型改善活動」の仕組み事例
- 2) 「改善意識の高い組織」と「全員参加型改善活動」
- 3) 人を動かす「再発防止計画3」

### 第6章 失敗を繰り返さないための「具体的な実践方法」の勧め

### 第7章 実践に向けての「動機付け」

### 第8章 「実践に向けてのご質問」と「エール」

(注) ケーススタディやワークショップを体験いただき、  
現場で即、役立つ内容にしたいと考えております。

\*\*\*\*\*

#### ■受講者の声：

- 目から鱗が落ちる思い、エラー対策を行ってきたが作業者がやる気をなくした状態だった。
- セミナーによりいかに相手のやる気を出させるか、不平、不満の改善等にたどり着くことができた。ちょっとだけ相手の立場に寄り添う等、今日の朝礼から早速実践。とても良い内容だった。
- ヒューマンエラーは半ば「諦めの課題」だった。今回ようやく受講でき、お話を伺い、明日からの業務に活かすことができると思った。